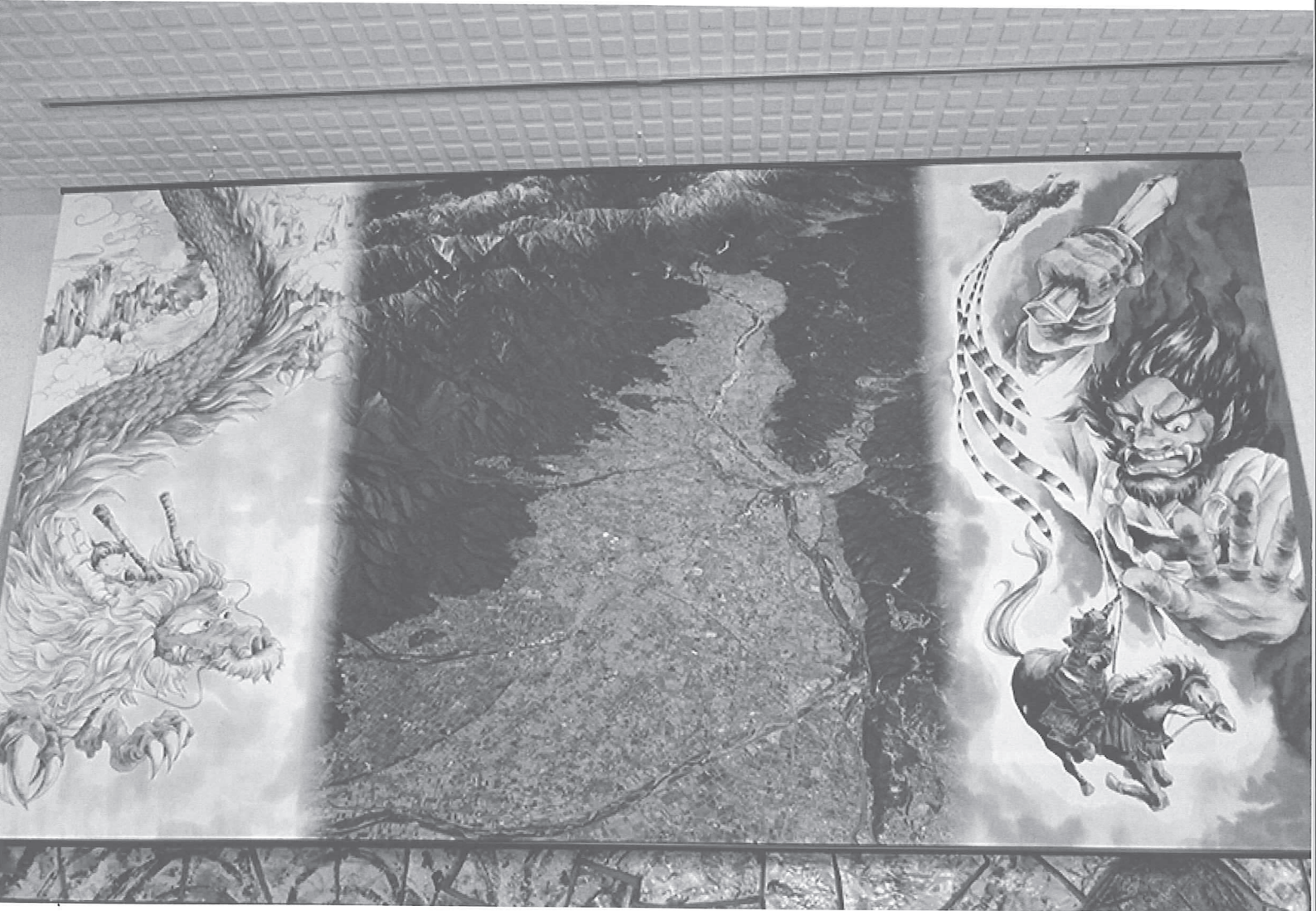


平成 29 年度
年 報



AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM

安曇野市豊科郷土博物館



目次

I ようこそ安曇野市豊科郷土博物館へ
博物館の概要 1

II 博物館の概要 2

- 1 開館からの略歴
- 2 当館の目指すところ
- 3 平成29年度活動方針
- 4 施設の概要
- 5 平成29年度予算
- 6 所蔵している資料点数
- 7 入館者数と内訳

III 企画した展覧会及び関連事業 4

- 1 企画展
- 2 講座・学習会
- 3 出前講座（学校）
- 4 出前講座（その他）
- 5 ワークショップ
- 6 昔の暮らし体験教室
- 7 一般に呼びかけた友の会関連行事

IV 写真でたどる年間活動 8

V 学芸員実習の受入れ 12

VI 館内外活動への取材と広報 12

VII 寄せられたご相談への対応 12

VIII 調査研究や展覧会企画について
～方向性をもった学芸活動をおこなうために～ 12

- 1 新市立博物館構想に向けた取り組み
- 2 安曇野の自然・歴史・民俗の調査研究

IX 他施設との連携協力体制 13

- 1 旧資料館収蔵資料等の有効活用
- 2 提携博物館等との具体的協力

X 当館に寄せられたみなさまのご意見
利用者の意見から見る外審評価 14

XI 博物館のこれから
～目標とみなさまへのメッセージ～ 15

表紙写真：エントランススペーストリー
裏表紙写真：「結婚式は誰のため？」ポスター

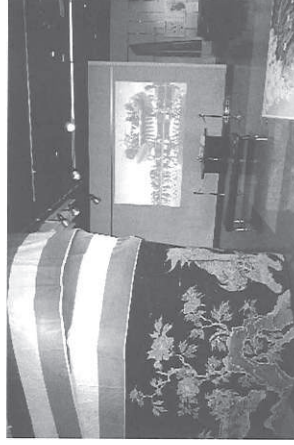
I ようこそ安曇野市豊科郷土博物館へ

博物館の概要

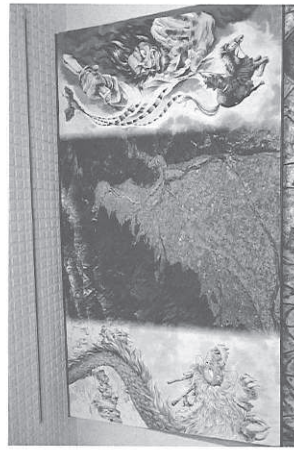
4年ぶりに常設展示替えをしました。収蔵している展示用資料を活用し、また多くの市民の方々のご協力をいただき、「水のある暮らし」から「MATSURI」へとテーマを替えて展示いたしました。安曇野に暮らす人々の日常の暮らしにMATSURIはメリハリを与え、生活のリズムを作り出します。安曇野にあるたくさんMATSURIを皆様楽しんでいただけることを目指した展示といたしました。実物のオフネや御柱を展示することによって、祭りの迫力を感じていただけます。3月31日リニューアルオープンし、当日は記念講演も行われました。



安曇野絵地図です。地図の中に入り込んでみてください。



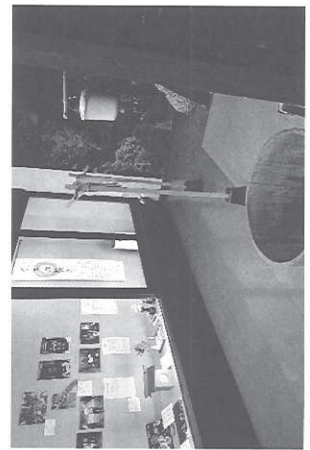
住吉神社（繪）のオフネの帯。見ていただくのはごく一部ですが、並んで大きさを確認してみてください。



エントランスは家小次郎と八面大王がお出迎えます。安曇野平を俯瞰して見てください。



3月31日開催のオープンニング記念講演会です。



民家の扉を開けて中に入ってみてください。

Ⅲ 企画した展覧会および関連事業

1 企画展・友の会展覧会

No	展覧会名	開催期間	日数	場所	入館者
1	安曇野市レットアート展Ⅱ	4月1日(土)～4月9日(日)	8日間	企画展示室	213
2	第33回白鳥写真展	4月15日(土)～5月28日(日)	39日間	企画展示室	1461
3	第33回山草・サクラソウ展(友の会と共催)	5月3日(水)～5月6日(土)	4日間	企画展示室	179
4	第12回ポタニカルアート展・31回写真展(友の会と共催)	6月2日(金)～6月14日(木)	11日間	企画展示室	259
5	夏季企画展「結婚式は誰のため?」	6月24日(土)～8月20日(日)	50日間	企画展示室	1883
6	秋季企画展「古墳で考える 安曇のそもそも・安曇野市内古墳出土展・前期」	8月26日(土)～9月24日(日)	26日間	企画展示室	944
7	秋季企画展「古墳で考える 安曇のそもそも・安曇野市内古墳出土展・後期」	9月26日(火)～10月29日(日)	30日間	企画展示室	1338
8	安曇野市豊科地域文化祭	11月4日(土)～11月12日(日)	9日間	企画展示室	133
9	第14回友の会絵手紙展 第1回友の会戦時生活展	12月8日(金)～12月24日(日)	15日間	企画展示室	503
10	第64回友の会書道展・第27回水墨画展	1月12日(金)～1月25日(木)	12日間	企画展示室	353
11	平成29年度企画展「野鳥×植物 つながる生命のいとみなみ」	2月17日(土)～3月31日(土)	36日間	企画展示室	1715

開催期間合計 240日間 入館者合計 8981

2 講座・学習会

(1) 企画展関連講演会・講座等

	日時	講師	場所	参加者
1	平成29年度夏季企画展関連講座「日でも口でも五感で楽しむ江戸時代の婚札料理」第1回	職員 2名	豊科郷土博物館・勇屋会館	21
2	平成29年度夏季企画展関連講座「日でも口でも五感で楽しむ江戸時代の婚札料理」第2回	職員 2名	豊科郷土博物館・勇屋会館	26
3	平成29年度夏季企画展関連講座「日でも口でも五感で楽しむ江戸時代の婚札料理」第3回	職員 2名	豊科郷土博物館・勇屋会館	18
4	夏季企画展特別講演会「結婚して、よかった? - 戦後の結婚式の変化と幸せのゆくえ -」	石井研士(國學院大学理事・副学長、神道文化学部教授)	豊科交流学習センター・さきぼう	58
5	展示説明	西山克己(長野県立歴史館)	豊科郷土博物館	19
6	秋季企画展関連講演会「象嵌装太刀を持ったシナノの商人たち」	西山克己(長野県立歴史館)	豊科交流学習センター・さきぼう	74
7	秋季企画展「黒燻石のみちを考える」	大竹憲昭(長野県立歴史館)	豊科交流学習センター・さきぼう	62
8	秋季企画展講演会「穂高古墳群と安曇野-穂高古墳群F9号墳の調査成果から-」	青木敏(國學院大学文学部史料学専攻教授)	豊科交流学習センター・さきぼう	99
9	秋季企画展関連見学会	土屋積(中野市立博物館長) 職員 1名	長野市、須坂市、中野市	30
10	平成29年度企画展講演会「花や実を進化させた鳥たちの不思議」	上田恵介(立教大学名誉教授)	豊科交流学習センター・さきぼう	141

11	平成29年度企画展関連自然講座「植物の種多様化したたかな魅力」	3月24日(土)	職員 1名	博物館2階学習室	49
12	常設展リニューアルオープン記念安曇族の実像に迫る～MATSURU展示のおもしろさから～	3月31日(土)	職員 2名	豊科公民館	54

参加者合計 651

(2) 主催講座

① こだわ講座

	タイトル	開催日	講師	場所	参加者
1	「大糸線はなぜ明蓋村を通り、池田町を外したのか」	12月16日(土)	職員 1名	郷土博物館学習室	55
2	「お婆さまさま」	12月23日(土)	職員 1名	郷土博物館学習室	18
3	「昭和の自宅結婚式～これから結婚式をする人たちへ～」	1月6日(土)	職員 1名	郷土博物館学習室	9
4	「木葬に受け継ぐ長峰山の自然」	1月20日(土)	藤田淳一、土田秀実ほか職員 1名	郷土博物館学習室	40
5	「安曇族、乗るのは将ではなく馬」	1月27日(土)	職員 1名	郷土博物館学習室	60
6	「勘左衛門腰をめぐる村と人～拾ヶ堰開削前史～」	2月3日(土)	職員 1名	郷土博物館学習室	55

参加者合計 237

② その他

	タイトル	開催日	講師	場所	参加者
1	安曇野のスマイル観察会	4月30日(日)	腰原正己	野外(博物館周辺～穂高～堀金)	24
2	ウマノスズクサ・クララの移植(ジャコウアゲハの学習)	6月2日(金)	職員 1名	豊科郷土博物館	34
3	帰化植物の観察と学習会	7月8日(土)	横内文人	安曇野市ワサと田湧水群公園～万水川	11
4	昆虫採集と標本作り in 長峰山	8月11日(金)	職員 1名	豊科郷土博物館	12
5	植物標本作成学習会	9月3日(日)	職員 1名	豊科郷土博物館	10
6	押絵で干支を作ってみよう	11月19日(日)	三村隆彦(ペラミ人形店)	博物館学習室	20

参加者合計 111

3 出前講座(学校)

	開催日	講師	場所	参加者
1	穂高北小学校出前講座	職員 1名	穂高北小学校	117
2	豊科北中KT 第1回	職員 2名	豊科北中(第2技術室)	12
3	豊科北中KT 第2回	職員 2名	豊科北中(第2技術室)	12
4	豊科北中KT 第3回	職員 2名	豊科北中(第2技術室)	13
5	三郷中セルフ	職員 1名	三郷資料館	36
6	豊科北中KT 第4回	職員 2名	豊科北中(第2技術室)	12
7	三郷中 三郷セルフ	職員 1名	三郷資料館	68
8	三郷中 三郷セルフ	職員 1名	三郷資料館	69
9	豊科北中KT 第5回	職員 2名	豊科北中(理科室)	13

10	豊科北中地蔵交流会	9月7日(木)	職員2名	豊科北中学校	13
11	豊科北中地蔵交流会	9月21日(木)	職員2名	豊科北中学校	13
12	穂高西小出前講座	10月17日(火)	職員1名	穂高西小学校	11
13	穂高西小出前講座	11月7日(火)	職員1名	穂高西小学校周辺	11
14	三郷中学校総合学習	12月22日(金)	職員1名	三郷中学校	10
15	安曇野市の食文化～その特色とは～	1月12日(金)	職員1名	豊科高校	40

参加者合計 450

4 出前講座 (その他)

		開催日	講師	場所	参加者
1	公民館館長・研修会講座	5月10日(水)	職員1名	三郷公民館	191
2	県博協出前講演会	5月18日(木)	職員1名	教育文化会館サン・アルプス	38
3	市教育会社会科同好会	5月20日(土)	職員1名	教育会館	20
4	ガールスカウト向け自然観察会	5月28日(日)	職員1名	穂高牧地区	20
5	明人大学講演会	5月23日(火)	職員1名	ふれあいホール	92
6	県営高川溪谷緑地市民会議による自然観察会	6月3日(土)	職員1名	県営高川溪谷緑地森林エリア	22
7	市教育会賛助会理地見学講座	6月8日(木)	職員1名	堀高川吉原地区	22
8	安曇野市大北地区校長教頭会	7月14日(金)	職員1名	豊科郷土博物館	38
9	安曇野市教育会実技講習会	7月27日(木)	職員1名	豊科郷土博物館	32
10	捨ヶ屋世界かんがい施設遺産登録記念講演会	7月28日(金)	職員1名	堀金総合体育館	420
11	三郷公民館ふるさと講座	8月9日(水)	職員1名	美ヶ原	32
12	穂高公民館「浅川山トレッキングと自然観察案内」	9月13日(水)	職員1名	浅川山(穂高)	20
13	上田市上野が丘公民館鉛筆散歩	9月21日(木)	職員1名	有明懸撃地	15
14	安曇野市環境課「安曇野の自然まるわかり観察会」	10月21日(土)	職員1名	三郷～堀金	20
15	中房温泉講座	10月28日(土)	職員1名	中房温泉	15
16	三郷郷土史会研究会(切り絵づくり)	11月19日(日)	職員1名	三郷公民館	31
17	築蔵びあの講座	11月26日(日)	職員1名	築蔵びあの	41
18	変わりゆく人里の植物たち～安曇野の水辺から～	1月6日(土)	職員1名	長野県立歴史館	104
19	回営公園三九郎	2月12日(月)	職員2名	回営アルプスあづみの公園	26
20	J A組合員代表者集會講演会「安曇野の大地と人々の心に潤いをもたらし続ける捨ヶ原」	2月26日(月)	職員1名	スイス村サンモリッツ	486
21	松本藩領ミュージアム「菅江真澄と松本平民俗」	3月11日(日)	職員1名	松本市立博物館	60
22	農業再生会講演会	3月22日(木)	職員1名	豊科公民館	62

参加者合計 1807

5 ワークショップ

	開催日	講師	場所	参加者	
1	ナイトミュージアム(ローソク作り、怪談、お化け屋敷)	8月10日(木)	職員2名	豊科郷土博物館	35
2	環境フェア(切り絵づくり)	10月7日(土)	職員1名	堀金総合体育館	60

3	環境フェア(切り絵づくり)	10月8日(日)	職員1名	堀金総合体育館	70
4	常念フェスティバル	10月28日(土)	職員2名	堀金総合体育館	30

参加者合計 195

6 昔の暮らし体験教室

	学校	開催日	講師	参加者
1	堀金小学校	1月12日(金)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 猿田進, 平林政子, 小穴金三郎, 職員3名	99
2	豊科東小学校	1月19日(金)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 猿田進, 平林政子, 小穴金三郎, 職員3名	35
3	穂高西小学校	1月25日(木)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 猿田進, 平林政子, 小穴金三郎, 職員3名	67
4	豊科北小学校	1月29日(月)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 猿田進, 平林政子, 小穴金三郎, 職員3名	83
5	三郷小学校	1月30日(火)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 猿田進, 平林政子, 小穴金三郎, 職員4名	155
6	豊科南小学校	2月2日(金)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 猿田進, 平林政子, 小穴金三郎, 職員5名	104
7	明南小学校	2月6日(火)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 猿田進, 平林政子, 小穴金三郎, 職員3名	52
8	明北小学校	2月7日(水)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 猿田進, 平林政子, 小穴金三郎, 職員4名	28
9	穂高北小学校	2月8日(木)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 猿田進, 平林政子, 小穴金三郎, 職員2名	110
10	穂高西小学校	2月9日(金)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 猿田進, 平林政子, 小穴金三郎, 職員4名	94

参加者合計 827

7 一般に呼びかけた友の会関連行事

	行事名	開催日	講師	場所	参加者
1	綿花種えと綿花の話(自然と暮らしの文化部)	5月20日(土)	職員2名	豊科郷土博物館	19
2	大麦刈り(自然と暮らしの文化部)	6月9日(金)	職員2名	穂高柏原久入田(大麦畑)	3
3	暮らしと草花(自然と暮らしの文化部)	6月10日(土)	職員1名	豊科郷土博物館	9
4	自然観察 in 長峰山(自然と暮らしの文化部)	7月9日(日)	職員1名	長峰山山頂周辺	23
5	落ち着きのおじやづくりワークショップ(自然と暮らしの文化部)	7月22日(土)	職員3名	豊科保健センター	18
6	落ち着きのおじやふるまい(自然と暮らしの文化部)	7月22日(土)		豊科郷土博物館	9
7	七タまじゅう(自然と暮らしの文化部)	8月4日(金)	職員1名	豊科保健センター	32
8	F9号古墳見学会(郷土史部)	8月13日(日)	職員1名	穂高古墳群	38
9	綿花の収穫とぬかくど体験(自然と暮らしの文化部)	10月14日(土)	職員1名	豊科郷土博物館	14
10	秋の七草観察会 in 長峰山(自然と暮らしの文化部)	9月9日(土)	職員1名	長峰山	11
11	大麦の虫かご作り(自然と暮らしの文化部)	11月12日(日)	矢口健陽児, 職員2名	鐘の鳴る丘集会所	16
12	布ぞうり作り(自然と暮らしの文化部)	12月9日(土)	職員3名	博物館2階学習室	12
13	戦争体験を聞き集い(戦時生活部)	12月9日(土)	西山茂博, 松原春子	博物館2階展示室	42
14	やしようま作り(自然と暮らしの文化部)	2月10日(土)	職員2名	豊科保健センター	10
15	火口作りと火打石体験(自然と暮らしの文化部)	3月10日(土)	矢口健陽児, 職員1名	鐘の鳴る丘集会所	14

参加者合計 270

IV 写真でたどる年間活動

① 第33回白鳥写真展展示風景



② 第33回山草・サクラソウ展



③ 第12回ポタニカルアート展・第31回写真展



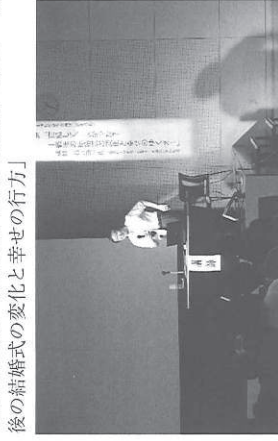
④ 平成29年度夏季企画展「安曇野 人の一生」

◆ 展示解説



◆ 記念講演会 石井研士「結婚してよかった?—戦後の結婚式の変化と幸せの行方」

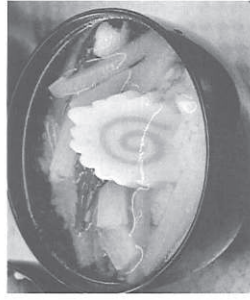
◆ 展示解説



◆ 結婚式 落ち着きのおじやづくりと見学者へのお振る舞い



落ち着きのおじやづくり



おじや

⑤ 秋季企画展「古墳で考える安曇のそもそも—安曇野市内古墳出土展—前期」
⑥ 秋季企画展「古墳で考える安曇のそもそも—安曇野市内古墳出土展—後期」
◆ 関連記念講演会等

西山克己氏（長野県立歴史館）

「象嵌太刀を持ったシナノの舎人たち」



大竹憲昭氏（長野県立歴史館）

「黒曜石のみちを考える」



◆ 現地見学会

10月20日（金）午前9：00～午後5：00



大至古墳群見学

八丁鏡塚古墳見学

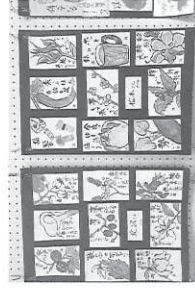
⑦ 第14回友の会絵手紙展・第1回友の会戦時生活展



「安曇野にも戦争があった」展



戦争体験者の話を聞く



絵手紙展

⑧ 第63回友の会書芸展・第27回水墨画展

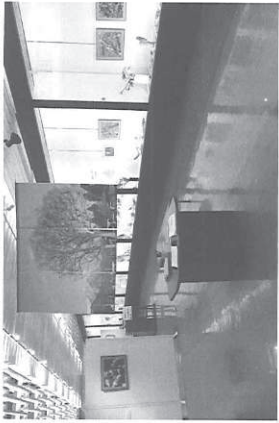


書



水墨画

⑨ 冬季企画展「野鳥×植物 つながる命のいとなみ」



◆自然講座
松田貴子
「植物の種 多様でしたたかな魅力」

◆早春の野鳥観察会1
講師 丸山隆氏 (前信州野鳥の会会長)
松本市アルプス公園

◆早春の野鳥観察会2
講師 丸山隆氏 (前信州野鳥の会会長)
ビレッジ安曇野〜万水川堤防周辺

◆関連記念講演

上田恵介氏 (立教大学名誉教授)
「花や実を進化させた鳥たちの不思議」



⑩ 安曇野のスミレ観察会



⑪ 帰化植物の観察会と学習会



⑫ シタまんじゅう作り



⑬ 昆虫採集と標本づくり



⑭ F9号古墳見学会



⑯ 県立歴史館巡回展説明会



⑰ 秋の七草観察会 in 長峰山



⑱ 環境フェア (於 堀金総合体育館) 自然の生きものの切り紙・「一人だけの空間 あなたは どう使う? (通称 便所展)」



切り絵コーナー

⑲ 中房温泉講座 (於 中房温泉)



⑲ 大麥の虫かごづくり (於 鐘の鳴る丘集会所)



⑲ 常念フェスティバル (於 常念ドーム) 押し花の葉づくり



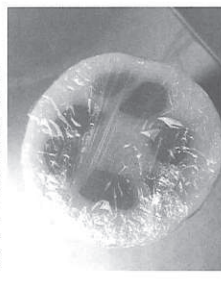
⑳ 押絵で干支をつくってみよう



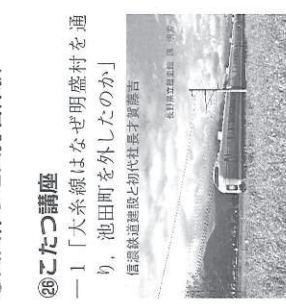
㉑ 12月9日 (土) 布ぞうり作り



㉑ 「やしょうま」作り



㉒ 火口作りと火打石体験



㉓ こたつ講座

—1 「大糸線はなぜ明盛村を通り、池田町を外したのか」
信濃鉄道建設と初代社長才賀勝吉



—2 「お蚕さまさま」



—3 「昭和の自宅結婚式〜これから結婚式をする人たちへ〜」



—4 「未来に受け継ぐ長峰山の自然」

—5 「安曇族 乗るのは舟ではなくて馬」

—6 「勘左衛門賑をめぐる村と人〜拾ヶ堰開拓前史〜」

⑲ ナイトミュージアム ローンクづくり

V 学芸員実習の受け入れ

本年度の当館での学芸員実習の希望は3名でした。

博物館業務を具体的に実践することを通しての実技体験を重視した各種研修を実施してきました。また、各自の企画による教育普及講座や、ミニ企画展に取り組むことで、自ら調査研究して展示等に結び付ける創造性に触れての研修を行いました。



最終日展示発表



民俗調査実施

VI 館内外活動への取材と広報

館内外の活動を広く市民の方々に周知するために、企画展示が行われたり、講演会が行われたりするたびに、新聞・放送関係をはじめとする広報活動を行ってきました。また、2017年度から始めた出前展示を今年度も行い、公民館・学校等の要請を受け、出前展示を貸し出して多くの方々に見ていただきました。新たに作成した出前展示もあり、環境フェアに出展したり、「緑の瓦」は戦後栗原寺の瓦修理のために寄付した市内各中学校の前面が剥かれた瓦が埋め戻したのを機に、瓦を展示すると同時に修学旅行の意味についても考えられるような出前展示としました。「緑の瓦」は市内の各中学校を巡回展示させることができました。



「緑の瓦」本庁舎でのお披露目展

積極的に自然観察会なども企画し、広報することによって、当館及び新市立博物館準備室の活動範囲を広げるとともに、その存在を広く知っていただく機会となりました。

こうした取材・広報活動を頻繁に行うことによって、結果的には博物館へ多くのお客様に足を運んでいただくことができました。また、平成26年度、館公式ホームページを開設したことで、館から直接情報発信できる機会が増えました。これまでの博物館活動の周知や、これからの活動の予告など、さまざまなシーンでホームページを活用していただけるよう、ホームページの更新を頻繁に行えるようにしていきます。

VII 寄せられたご相談への対応

博物館事業に関する質問等や市内の文物に対して数多くのレファレンス（問い合わせ）や調査相談があり、学芸員が分担してさらに調査等をして記録に残しているもので総計20件を数えますが、電話や展示資料等の簡易的な問い合わせはその数倍という数になります。

歴史資料や文化財に関する所在地や、云われにかかわる疑問点とその究明方法を問い合わせる質問が高い割合を占め、博物館での展示内容や刊行物の説明等への不ポイントやご意見も比較的多くありました。自分が住む地域の行事あるいはご自身が所有している文物の意味や価値をたずねる例や、今後の保護策及び寄贈等活用策を相談する例も目立ちました。

展示内容等に関しての不ポイント等博物館の調査研究に直接触れてのレファレンスについては、館内及び教育委員会文化課で情報を共有し各専門分野の職員の見解も採り入れ、今後に役立てることのできる方策を講じています。

VIII 調査研究や展覧会企画について～方向性をもった学芸活動をこころうために～

I 新市立博物館構想に向けた取り組み

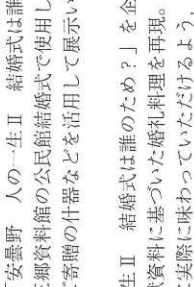
■ 常設展示のリニューアルを経て3年、新市立博物館建設構想が具体的に進められる中で、さらに市内全体を網羅した調査研究の充実と魅力的な展示の実現を通し、より親しみやすく利用しやすい博物館を目指して一歩でも改善できるよう取り組んでまいりました。さらに、新博物館構想での基本的な方向性を大事に受け

止め、前倒しをする形でその具体化を図るための改善を進めた一面もあつての活動です。

■ 閉館となつての明科・三郷・堀金の歴史民俗資料館と安曇野市文化財資料センターに保管収蔵されている資料について、博物館の各種展示資料・体験講座の使用道具などとしてできる限り活用しました。具体例の一つは、特別企画の「安曇野 人の一生Ⅱ 結婚式は誰のため?」に館収蔵の婚礼衣装や三郷資料館の公民館結婚式で使われた婚礼衣装・披露宴の席の再現にご寄贈の什器などを活用して展示いたしました。



博物館収蔵資料を使用し
三々九度の場を再現



結婚衣装 一部は市民の提供、
一部は博物館収蔵資料

■ 夏季特別企画展「安曇野 人の一生Ⅱ 結婚式は誰のため?」を企画。安曇野市域に残されている文献資料に基づいた婚礼料理を再現。江戸時代末期の婚礼料理を希望者に実際に味わっていただくよう、勇屋会館さんのご協力を得て実現し、3回、計60人の方々にご目と口と五感で料理を味わっていただきました。

■ 恒例のようになりにつつまある市内金小学校3年生を対象とした体験教室は、今年も1月末から2月上旬に集中して実施できました。穂高郷土資料館関係のみさんを中心とした指導者チームが、当日の運営はじめ資料準備から修繕等に一贯して関わっていただいています。

■ 秋季特別展は長野県立歴史館の企画展を巡回しての「秋季企画展「古墳で考える 安曇のそそもも・安曇野市内古墳出土展-前期 後期」を実施いたしました。前期は國學院大学のご協力を得てF9号古墳からの出土品も展示いたしました。出土品の中には王冠の付属品と思われる金製品（宮内庁書陵部蔵）も含まれ、安曇野の長い歴史の奥にある貴重な出土品に触れてもらえる機会を設けました。

■ 冬期間の特別企画展示として「野鳥×植物 つながる生命のいとなみ」を企画いたしました。鳥のお腹を満たしながら、植物は鳥に種を運んで命をつなげていくという、なかなかの戦略家であることを、写真でその瞬間をご覧いただくとともに、植物の標本や鳥のはく製も多用し見えて楽しんでいた工夫をいたしました。

2 安曇野の自然・歴史・民俗の調査研究

■ 学芸員を中心とする現地調査や聞き取りについては、見通しや継続性のある取り組みが難しい状況になっていますが、戦争関係の資料調査等について市民のみさんとの協働による活動に手を付け、第1回の展覧会を開催することができました。

■ 学芸員各自で調査等を進めている内容を公開する「こたつを囲む博物館講座」を昨年に引き続き企画実施しました。内容については、前述のこたつ講座をご参照ください。

■ 近隣市町村博物館との連携による新たな活動の展開という課題について、松本市立博物館提唱の「松本藩領博物館構想」を受け、「菅江真澄」をテーマに塩尻市とともにシンポジウムに参加いたしました。展示物や博物館見学の相互協力も具体化しています。

IX 他施設との連携協力体制

I 旧資料館収蔵資料等の有効活用

① 閉館等により展示等で常時活用できていない収蔵資料について、企画展等の展示に向けてできるだけ積極的に活用してまいりました。見学等の対応を含め、旧来の資料館利用に近い対応を考えています。現実には難しい状況にあります。

② 穂高郷土資料館と連携し、市内の小中学校への出前講座がより充実した内容で実現できるよう準備から補修等まで協力を密にして取り組みました。

③ 穂高郷土資料館の学芸的事業とリわけ展示について、より充実した内容になるよう画館職員で協力しています。ただし、資料館の職員体制からは展示替えや展示説明の更新はなかなか実現できずにいます。

2 提携博物館等との具体的協力

平成24年度より旧穂高高等学校給食センターを改修しての資料収集及び整理ならびに調査研究の場として「安曇野市文化財資料センター」が開設されて5年目を迎えています。常に市内の文化財等諸資料を収蔵する拠点として資料センターに対応し、資料の整理・保存に当たり、博物館等の教育普及活動を支援する活動を行っています。

前述した原立歴史館との連携事業をはじめ、松本市立博物館、塩尻市平出考古博物館など県内の博物館との提携・協力による館活動を一層活発化してきました。

昨年度新たに実現した原立歴史館巡回展に合わせた協賛展示では、資料センター及びび学園院大学考古学研究所の調査から得られた成果を展示し、調査結果を中心にした講演会を開催いたしました。旧明科町歴史民俗資料館の収蔵資料等については、他の収蔵施設を含めた統一した対応が課題となっています。

X 当館に寄せられたさまざまなご意見 利活用者の意見からみる外部評価

昨年までは会場近くに「感想ノート」を置かせていただきましたが、本年度からは皆様のご意見を展示に反映させ、より良い展示を目指すために、アンケート調査を行うようにいたしました。以下は、アンケート調査に記入されたご意見です。なお、公募展・友の会展では、アンケートは行いませんでした。

◆ 夏季企画展「人の一生Ⅱ 結婚式は誰のため？」展

・ 現代に生きる30代世代にとっては、個人が尊重される結婚の意識であるが、かつては、個人でなくイエとイエとの結婚であることに驚き、女性の扱いが変容した現代に生まれ、よかったです。昔のよめは、えらい!!

- ・ 写真が高すぎ見て見にくいところがあった。
- ・ 時代の移り変わりを、肌で感じることができました。準備が大変だったことを推察致します。
- ・ もう少し内容があるとさらに良い
- ・ 誰のため？につられてみました。そんな昔でないころまで、結婚とは大変なことでした。
- ・ 映像、ひとつひとつの言葉が良かった。
- ・ 年代ごとの花嫁姿の変化
- ・ 知らない人たちの人生を見る機会は大ぶんありません。博物館といえれば有名な人の展示等が多いと思うので今回の展示はとておもしろかったです。
- ・ 昔と今のちがいがわかったから
- ・ 自分も大人になったらそうなるんだと思った（結婚したら）
- ・ 昔の結婚と結婚観とても興味深く自分達の今の様子と比べて考えさせられました。
- ・ 細かい資料、当時の文化がよくわかる

◆ 秋季企画展「古墳で考える安曇のそもそも—安曇野市内古墳出土品—」

- ・ 鳳凰の飾り板がよかった。
- ・ 伝説や魏石岩窟がよかった。
- ・ 明科姥寺と古墳の築造についてのことがよくわかる展示だった。
- ・ F9古墳の発掘調査についてよかった。
- ・ 展示やパネルが難しい内容を分かりやすく説明してよかった。
- ・ 実物資料がたくさん展示されてよかった。

・ 石室内部の体験ができた考古資料の展示をしてよかった。

※なお、今後もしもこうした考古資料の展示をしてほしいという意見が多く寄せられていた。また、来年も展示を続けてほしい旨の意見も多数ありました。

◆ 冬季企画展「野鳥×植物 つながる命のいとなみ」

・ 私達が何気に暮らしている中に、自然と共存している事が多くあり、それを博物館は気付かせてくれてい

ると思いました。庭に鳥が来ますので、良い企画だと思いました。

・ ウルン科は、さわるだけでも腫れたりかゆくなったりすることがあるのに野鳥たちには大人気!というところがおもしろかった。

・ いろいろな種を顕微鏡で見ることができるといいです。(しかも自分で展示コーナーから持って行き戻すというところも楽しい)。このクイズとアンケートが楽しかったです(答えを採るために解説を読んで写真をよく見たりしました!)

・ 顕微鏡コーナーで小さな種を拡大してみると、おもしろいように見え小鳥が喜んで食べる理由が分かった気がした。

・ 自分の身近にある植物も、子孫を残すために様々な方法を用いて長い年月をかけて進化させていることに驚きました。

・ 花を見る人は花、鳥を見る人は鳥ばかりになってしまったりと、2つのつながりとても面白かったです。

・ 本物と解説があって本物を見ながら解説を読めるので良かったです。

・ 1枚1枚写真が大変すばらしく解説もわかりやすかったです。自然の営み私たちが人間も含まれて1つだという説明に今更ながら気づかされ、この企画の意味を感じました。

・ 共生関係がわかりやすく展示説明されていてとても良かったです。外来種、荒廃地の問題を考える時人間の都合で考えますが、今回の展示では広い範囲で考察するという大切さを改めて感じました。実物の展示(印象に残りますが)、今更ながら素晴らしい企画です。準備も大変だったと思います。安曇野の自然を伝える企画をこれからも期待しています。

・ 鳥の実際の鳴声が聞きたかった。(ボタンを押すと声が出るようなタイプとか)映像が欲しい。

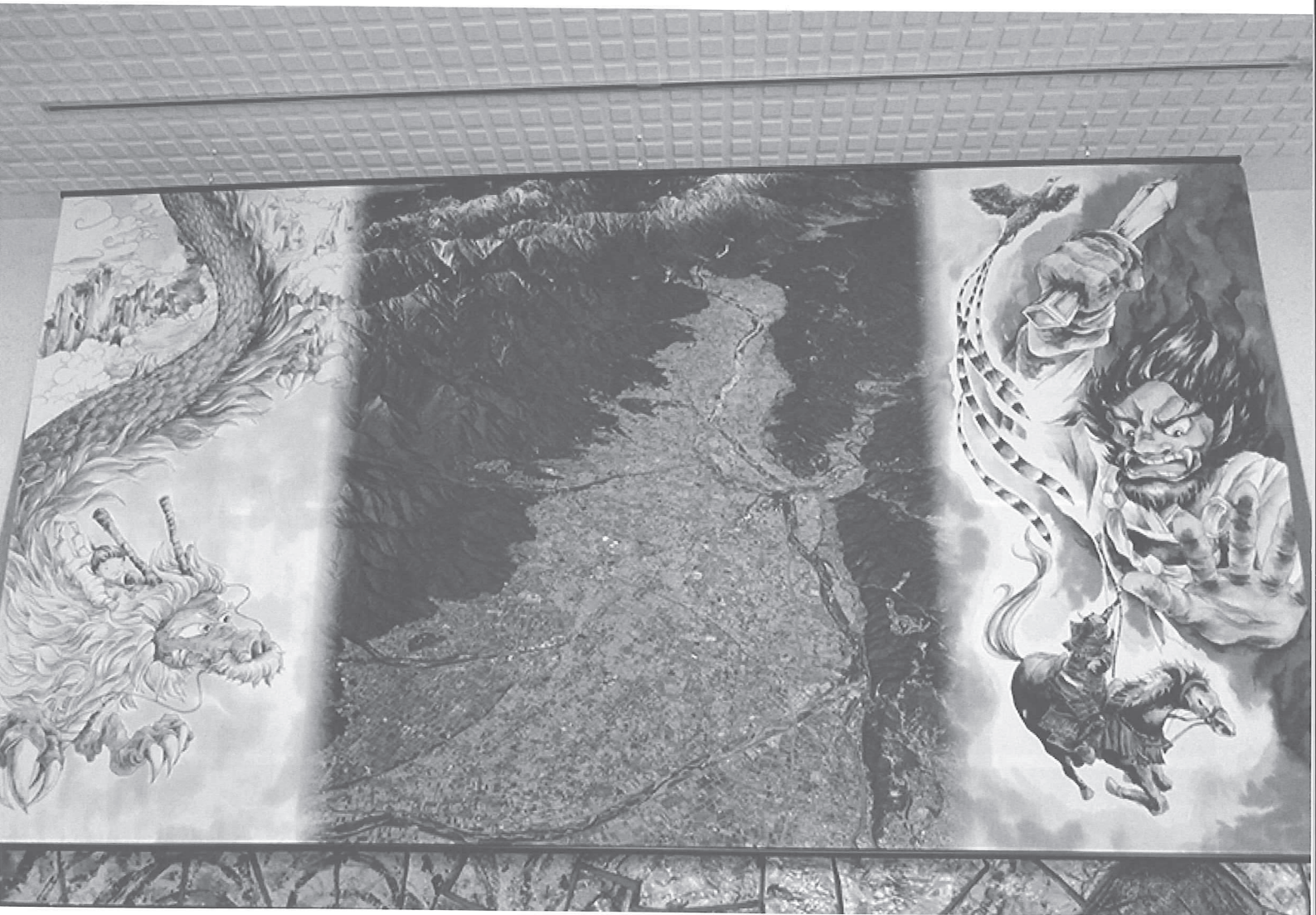
※その他、全体を通してわかりやすかった、楽しめた、というご意見を多数いただきました。

XI 博物館のこれから—目標とみなさまへのメッセージ—

安曇野市直営の博物館として再スタートして5年が過ぎようとする時、新市立博物館建設に向けた審議会答申を受け15~20年後の建設を前提に動き始めています。これまでの博物館での事業内容が問い直される状況ですが、来館されるお客さまにとっけていかに快適な博物館であり、魅力や親しみを増していく状況が実現するか、館職員全員で新博物館を意識し少しでも前進しようとする日々でした。博物館外部から寄せられたお声や数値として記録に残る成果などから、徐々にではありますがありますが確かな手応えを感じ、今後の活動につながる見通しもできつつあります。しかし、その反面まだまだ至らない点や検討課題も明らかになってきています。いよいよ新博物館の構想から準備室が設置され動き出した昨年度から、市民の皆様のための博物館としてより親しまれ信頼される博物館を目指してさらに努力しようと思っております。改善への取り組みの中で、前進する博物館を目標として工夫を重ねていきたいと考えています。

より親しまれ信頼される博物館を目指し一歩ずつ前進します

平成 29 年度
年 報



AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM

安曇野市豊科郷土博物館

